

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 https://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
単元株式数	100株

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シツキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
<https://www.shizuki.co.jp>



株主通信

第95期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

メッセージ

危機を、好機に。
変化を、進化に。



証券コード 6994 / スタンダード市場
株式会社 指月電機製作所

メッセージ

危機を、好機に。 変化を、進化に。

素材・エネルギーの高騰という 厳しい環境下から、次への一步を。

一時は回復基調へと推移するかに見えた世界経済も、新型コロナウイルス感染症の断続的な感染拡大や、半導体をはじめとする電子部品の需給逼迫、ウクライナ

情勢の悪化などによる素材やエネルギー価格の高騰が重なり、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

特に、今期において成長のドライバー（原動力）となるはずだった「xEV用コンデンサ」は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンによる下押しや、長引く電子部品の供給問題の影響により、最終製品そのものの生産にブレーキがかかり、前年同期比で減収となりました。

しかしその一方で、「電力・環境省エネ」「産業」の市場では、脱炭素・カーボンニュートラルの実現へ向けて世界が動き出す中、太陽光発電向けコンデンサと瞬低補償装置の受注が好調に推移し、増収となりました。特に、北米では太陽光発電のシェアが今後大きく拡大していくと見込まれ、私たち

シヅキもその変化に対応すべく、生産体制の強化を進めています。（本誌5ページのトピックスでも関連情報をご紹介します）

このような情勢のもとで、連結売上高は前年同期比14.0%増加、中間期としては過去最高となる12,457百万円となりました。しかしながら、損益につきましては、素材価格の高騰に対応した価格転嫁を推進するも、刈り取りが後追いとならざるを得ず、電力料金の増加も重なり、営業利益は前年同期比から55.7%減少の135百万円となりました。依然として厳しい環境にある中で、その危機をこれまでの自分たちの在り方を見直す好機と捉え、グループ丸となって前へと進んでいく所存です。

代表執行役社長
足達信章

2019-2028年度 長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、
品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し社会に貢献する
企業グループになる

中期経営計画

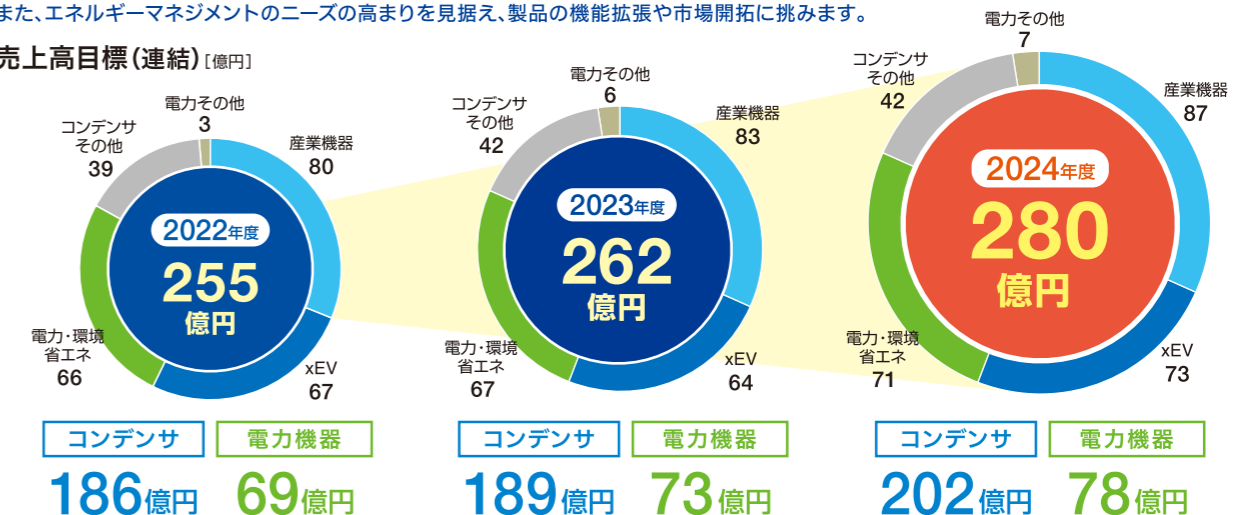
第Ⅰ期 2019～2021年度

第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

第Ⅱ期には、パワーエレクトロニクスの普及に貢献するため、事業拡大を強力に推進します。
また、エネルギーマネジメントのニーズの高まりを見据え、製品の機能拡張や市場開拓に挑みます。

売上高目標(連結) [億円]



メッセージ

環境の変化にしなやかに適応し、
調達の進化につなげる。

原材料費の高騰と円安が続く中、石化製品や非鉄金属などの輸入材料に依るところが大きいシツキのものづくりは、決して少なからぬ影響を受けました。加えて、日々工場を動かすために欠かせない電力の料金も上昇が続き、利益を圧迫する要因となっています。

しかし私たちは、この危機的な状況に立ち止まるのでは

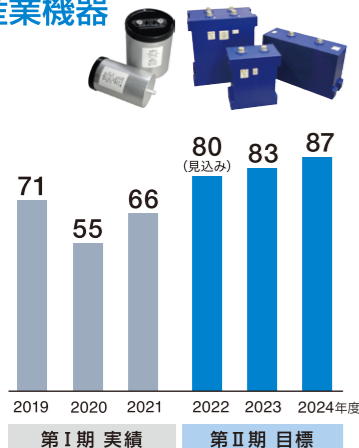
なく、これまでの在り方・やり方を変えるための好機であると捉え、たとえ一歩ずつでも前へ進もうとしています。原価の上昇分を適正なかたちで反映した価格転嫁に努めるとともに、グループの一体化による“知の融合”というテーマのもとで、調達行為においてもそれぞれの生産拠点が知恵を出し合い、共有化・合理化をはかっていく。外部環境の変化にしなやかに適応して、調達さえも進化させていく。従業員一人ひとりの“考働”が、今こそ問われています。

広がる“知の融合”。高まる、挑戦心。

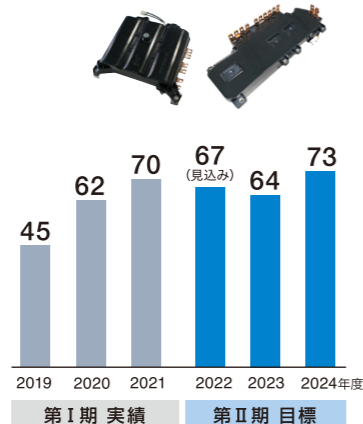
〈重点事業の売上高実績と目標（連結）〉

コンデンサ・モジュール

産業機器

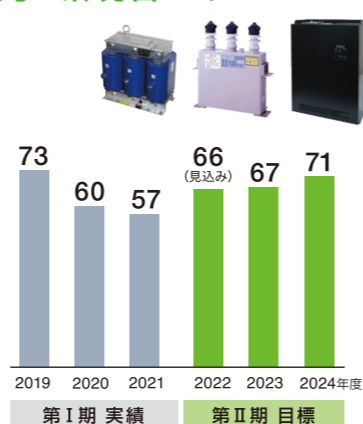


xEV



電力機器システム

電力・環境省エネ



[単位：億円]

仕様変更も厭わず、より良いものを目指す。
チーム一丸となったチャレンジ。

2022年7月からスタートした事業部制においても、グループの一体化と“知の融合”を体現したような動きが起り始めています。xEV事業部では、秋田指月と岡山指月のメンバーたちが、お互いの良いところを活かし合おう、高め合おうと、活発な議論や交流を繰り返して、たとえ事業部が発足する前に仕様が決められていたプロジェクトであっても、勇気を持って自分たちからお客様へと変更・改善を提案し、工程そのものをより良いかたちにつくり変えようとしています。

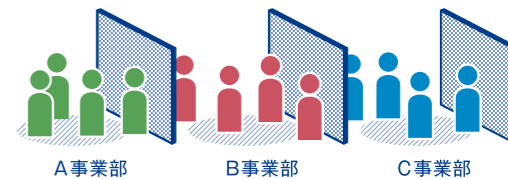
このような変更は手戻りも発生するため、一見は非効率に見えるかもしれませんが、しかし私たちは、チームが一丸となって“より良いもの”を目指すことこそが、真に合理的なものづくりにつながると考えています。日頃からお互いに意見をぶつけ合い、それを擦り合わせていく過程の中で、いくつもの気づきや発見が得られ、結果的に意思決定のスピードも速くなっていく。こうした気運は「産業」に携わるメンバーたちにも広がり、九州指月でも他の工場との行き来が盛んになって、積極的な情報共有や意見交換が生まれています。

横から見ると“壁”でも、
上から見ると“線”でしかない。

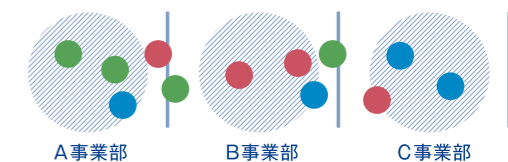
“知の融合”というキーワードを事業部の計画に盛り込み、自分たちの組織に根づかせようとするリーダーも現れ始めました。まだまだ道半ばで、成果に結びつくかは分からないものの、従来型の組織の壁を超えて、チームとしての一体感と個としての主体性を併せ持った、新しい組織が生まれつつあります。

組織の壁

横から見た時：壁（障害になる）



上から見た時：線（障害にならない）



「壁」だと思っていたものが、俯瞰して見るとただの「線」

開発や製造、販売というように異なる機能をそなえた組織が存在する時、そこには必ず組織の壁というものがあると言われてきました。しかし、その壁は横から見ると“壁”なのであって、俯瞰して上から見るとただの“線”でしかない、という話もあります。“壁”は障害になりますが、“線”であればお互いに行き来し合うことができます。高いところで理念と考えが一致していれば、たとえ異なる機能組織の間であったとしても壁はなくなる。理念に裏打ちされた方針を全員で共有することが、いかに大切なのかを物語っている話です。

私たち指月電機グループも、一丸となって長期経営ビジョンに掲げた「挑戦する社風への変革」を目指し、そこに裏打ちされた中期経営計画を一歩ずつ実行していくことで、一人ひとりの視座を高め、あらゆる壁を取り払いながら、お互いの可能性を最大限に引き出し合えるような組織をつくっていけたらと考えます。株主の皆さまにおかれましても、ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

脱炭素社会の実現へ向けて 需要が急拡大

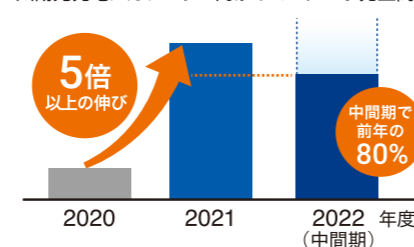
太陽光発電向けコンデンサ

地球温暖化防止に向けて、世界的に脱炭素・カーボンニュートラルに向けた取り組みが進み、太陽光や風力のような再生可能エネルギーへの注目がより一層高まっています。米国エネルギー省（DOE）は2021年9月、電力において脱炭素化を達成するためには、太陽光発電による構成比が2035年までに総発電量の40%程度になるという試算を発表。この発表が行われた時点での太陽光発電の構成比はおよそ3%で、そこからシェアが約13倍にまで拡大する計算になります。

このようなクリーンエネルギーへの需要の急拡大を受けて、シヅキでも太陽光発電メガソーラー向けのコンデンサの受注が急増。2021年度は、北米を中心に前年度比で5倍以上もの伸びがありました。この活況は今年度も続き、前年の実績をさらに大きく上回ることが予想されます。脱炭素社会の実現に貢献するためにも、シヅキは生産能力のアップや材料の確保に努め、飛躍的に高まる需要に応えていく所存です。



太陽光発電メガソーラー向けのコンデンサ売上高

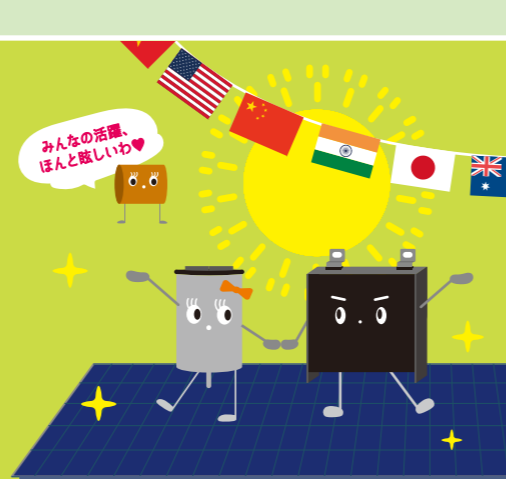


教えて!

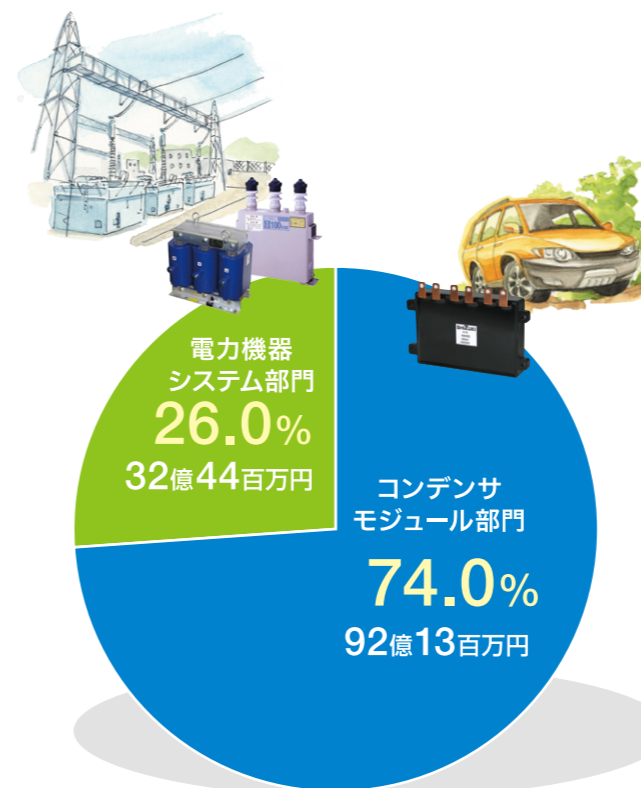
コンデンさん

メガソーラーを舞台に、大きく成長。太陽みたいに眩い活躍。

今日は、世界から大注目されている花形コンビを紹介するわ。太陽光発電所で活躍している仲間たちで、アメリカや中国からも熱烈なオファーが届いているのよ。みんなはメガソーラーという大舞台にも恥じない大きな働きを担っていて、電圧を安定させる「平滑用コンデンサ」や、電気の品質を高める「ACフィルター用コンデンサ」たちが、パワーコンディショナーという装置の中でパフォーマンスを繰り広げているの。これからの地球に欠かせないコンビとして、まだまだ人気上昇中なのよ。



2022年度中間期の業績概要



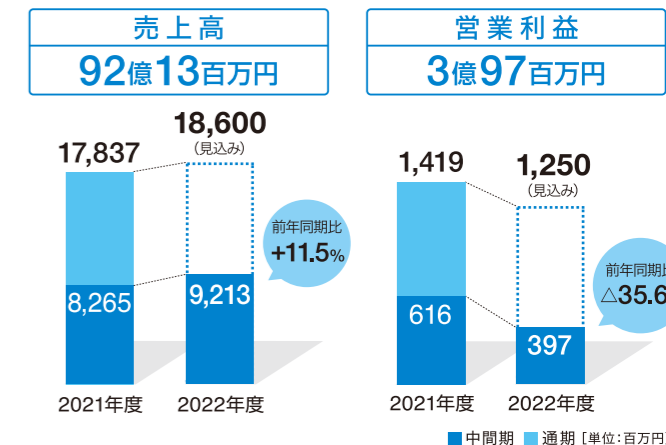
連結売上高

124億57百万円

※セグメント別の営業利益については、調整額△952百万円があります。
(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

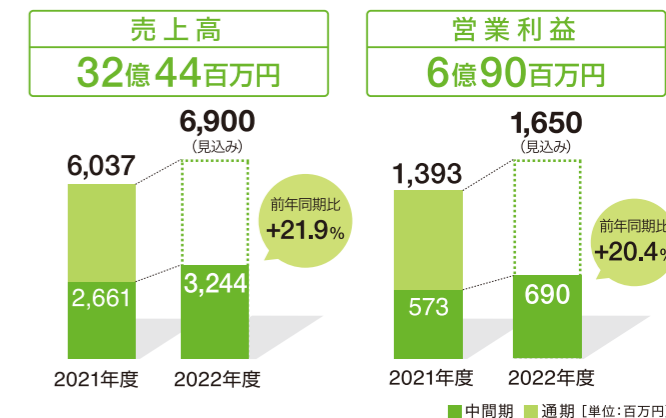
コンデンサ・モジュール部門

xEV用コンデンサは客先の生産調整による影響により、減収となりました。一方で、産業機器用コンデンサがパワエレ市場を中心に伸長した結果、売上高は9,213百万円(前年同期比11.5%増加)となりました。

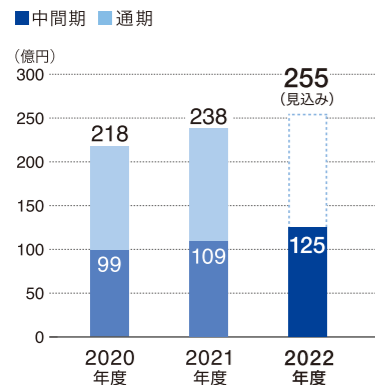


電力機器システム部門

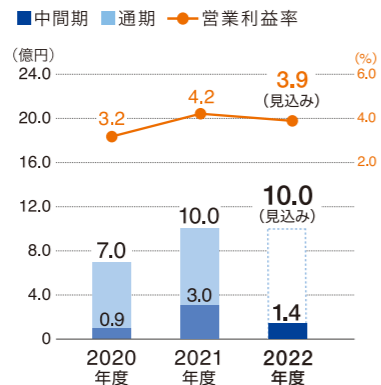
瞬低補償装置を中心に環境省エネ市場が伸長した結果、売上高は3,244百万円(前年同期比21.9%増加)となりました。



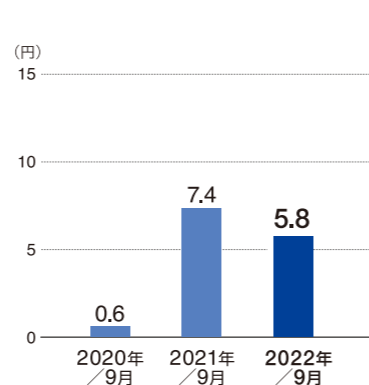
売上高



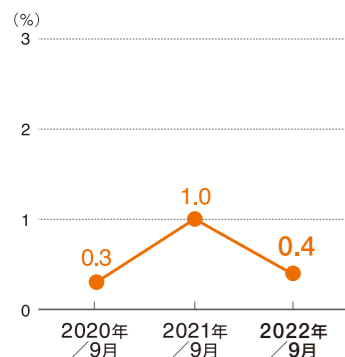
営業利益・営業利益率



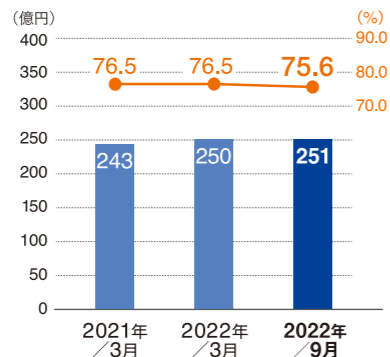
1株当たり利益 (EPS)



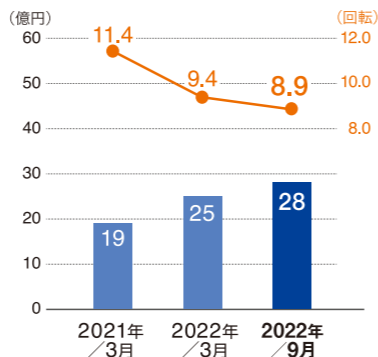
総資産営業利益率 (ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



売上高は、省エネ・脱炭素のニーズの高まりを受け、受注が好調に推移、これに加え、円安効果や素材価格高騰の価格転嫁活動の進展もあり、中間期の売上は過去最高の124億57百万円と前年同期比14%の増収となりました。また、営業利益は、素材高騰の影響が継続しており、1億35百万円と前年同期比で減益となりました。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第94期 中間期 2021年9月30日現在	第95期 中間期 2022年9月30日現在
資産の部		
流動資産	14,586	16,714
現金及び預金	4,992	4,727
売上債権	7,421	8,954
棚卸資産	2,054	2,849
その他資産	117	183
有形固定資産	13,064	13,047
無形固定資産	497	493
投資その他の資産	2,715	2,394
資産合計	30,864	32,650
負債の部		
流動負債	3,039	4,228
固定負債	3,352	3,340
負債合計	6,392	7,569
純資産の部		
株主資本	21,534	22,146
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	4,276	4,276
利益剰余金	12,278	12,890
自己株式	△21	△21
その他の包括利益累計額	2,604	2,543
非支配株主持分	333	390
純資産合計	24,472	25,080
負債純資産合計	30,864	32,650

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第94期 中間期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	第95期 中間期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	10,927	12,457
売上原価	8,594	10,106
売上総利益	2,332	2,351
販売費及び一般管理費	2,027	2,215
営業利益	305	135
営業外収益	193	346
営業外費用	130	127
経常利益	369	353
税金等調整前四半期純利益	369	353
法人税、住民税及び事業税	32	124
法人税等調整額	85	38
四半期純利益	251	191
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	245	191

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第94期 中間期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	第95期 中間期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	534	1,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,011	△382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143	△187
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69	33
現金及び現金同等物の増減額	△689	675
現金及び現金同等物の期首残高	5,682	4,051
現金及び現金同等物の期末残高	4,992	4,727

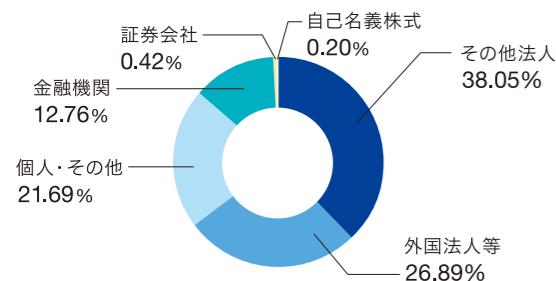
株式の状況

2022年 9月30日現在

株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	3,931名

所有者別株式数分布状況



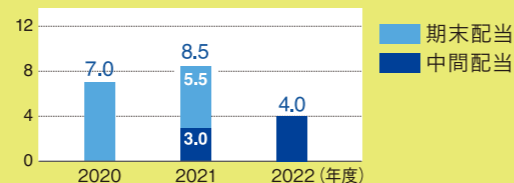
株価の推移(円)



中間配当金
1株当たり
4円

- 中間配当金 1株当たり4円
- 支払対象者 2022年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
- 支払開始日 2022年12月9日

1株当たりの配当実績(単位:円)



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.2
株式会社村田製作所	4,471	13.5
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,154	12.6
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	2,037	6.2
NPBN-SHOKORO LIMITED	1,522	4.6
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
指月協友持株会	978	3.0
株式会社みなと銀行	925	2.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	723	2.2
MSIP CLIENT SECURITIES	506	1.5

(注)持株比率は、自己株式(64,559株)を控除して計算しております。

会社概要

2022年 9月30日現在

会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本社所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	https://www.shizuki.co.jp/
創業年月日	1939年 3月10日
設立年月日	1947年 9月 1日
資本金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,409名
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンデンサ及び関連機器・装置の製造販売 ■ 電力機器・装置の製造販売
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京支社 ● 東京支店／関西支店／中部支店 ● 仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社 村田指月 FCソリューションズ	100,000千円	35.0

役員

取締役

取締役会会長	足達 信章*
取締役	大槻 正教*
取締役	小山 義雄
取締役	谷 和義※
取締役	松尾 誠人※
取締役	奥西 啓祐※

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	足達 信章
専務執行役	大槻 正教
執行役	小田 敦
執行役	牧添 浩明
執行役	稲垣 裕一

生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千パーツ	70.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0